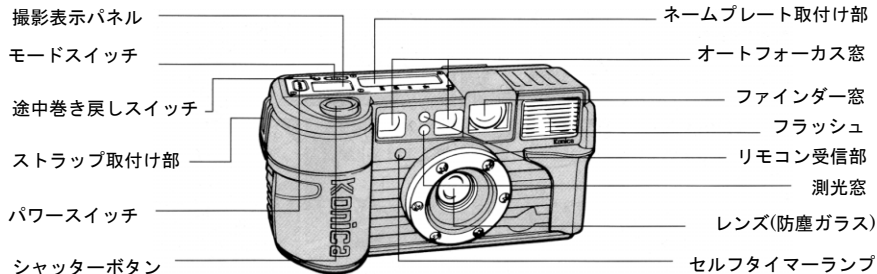
Konica

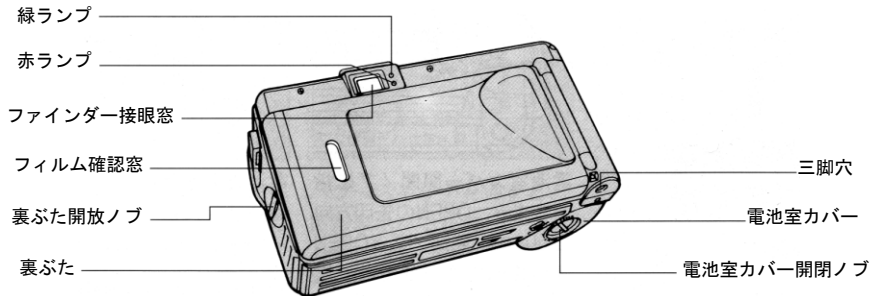
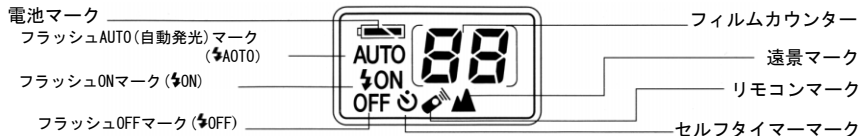
使用説明書

ご使用前に、必ずお読みください。

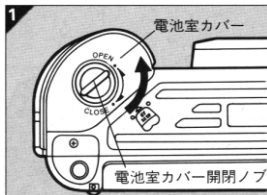
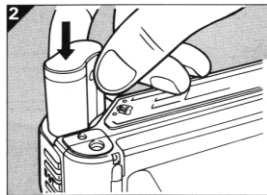
各部の名称

撮影表示パネル
モードスイッチ
途中巻き戻しスイッチ
ストラップ取付け部
パワースイッチ
シャッターボタン
ネームプレート取付け部
オートフォーカス窓
ファインダー窓
フラッシュ
リモコン受信部
測光窓
レンズ(防塵ガラス)
セルフタイマーランプ

ネームプレートに
あなたのお名前を……

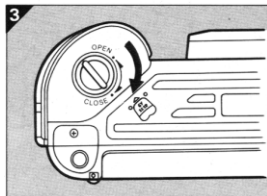
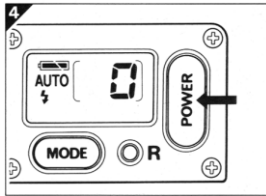
同封のネームシートにお名前を記入し、カメラ上面のネームプレート取付け部に置いて、裏紙をはがしたネームプレートを上から貼り付けてください。

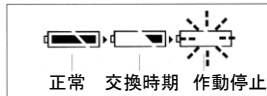
緑ランプ
赤ランプ
ファインダー接眼窓
フィルム確認窓
裏ぶた開放ノブ
裏ぶた
三脚穴
電池室カバー
電池室カバー開閉ノブ

撮影表示パネル(図はすべての液晶を点灯状態で示してあります。)

撮影準備

1
まず電池を入れてください

カメラに水滴や砂などが付いていたら、乾いた布で拭い落としてから、電池室カバーをはずしてください。内部に水滴や砂が入ると故障の原因になります。

電池室カバー開閉ノブを指でつまみ、OPENの矢印方向に回して、開閉ノブとOPEN側の●印を合わせると、電池室カバーがはずせます。

電池をカメラ底部の表示に合わせて正しく入れます。

＊電池の接点側を奥にして入れてください。
＊使用電池はリチウム電池2CR5:6V、1コです。

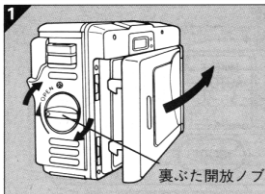
⚠警　告	爆発して大けがの危険があります。電池を火の中に入れたり、ショート、分解、加熱をしないでください。
⚠注　意	発熱発火の危険があります。指定外の電池を使用しないでください。

電池室カバーをはめ､カバーを押さえながら、CLOSEの矢印方向に開閉ノブを回して開閉ノブとCLOSE側の●印を合わせるとロックされます。

パワースイッチを押すと、撮影表示パネルに
（電池マーク）
AUTO（フラッシュAUTO）
0(フィルムカウンター)
が現われ電源ONになります。

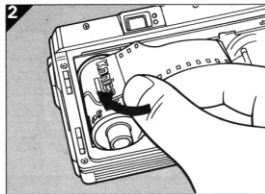
＊パワースイッチをもう一度押すと電源OFFになります。電源OFFのときには電池マークだけ点灯し、他のマークは消灯します。

電池交換の時期
電池が消耗して、電池マークが2/3白くなったら新しい電池と交換してください。

＊電池交換は、必ず電源をOFFにしてから行ってください。
＊撮影途中で電池マークが2/3白くなったら､最後まで撮影したあと電池を交換してください。
＊万一撮影中に電池マークが点滅したあと白くなると､シャッターがロックされます。このときは途中巻き戻しをしてください。
＊使用済みの電池は､カメラ店または電気店にお持ちください。

撮影準備

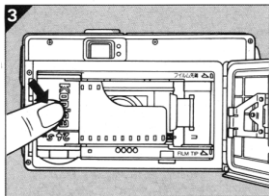
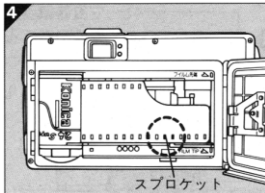
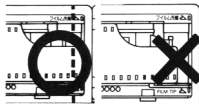
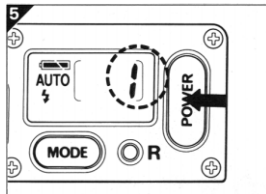
2
フィルムを入れてください

カメラに水滴や砂などが付いていたら、乾いた布で拭い落としてから裏ぶたを開けてください。内部に水滴や砂が入ると故障の原因になります。
コニカカラーフィルムのご使用をおすすめします。

裏ぶた開放ノブを矢印方向に回転し裏ぶたを開けます。

＊リバーサルカラーフィルム(スライド用)は、下表のDX導入感度(ISO)と同一感度のフィルムをご使用ください。

フィルムを入れます。

＊DXコード付きの35mm(135サイズ)フィルムを使用します。フィルム装てんと同時に使用フィルムの感度が自動セットされます。DXコードのないフィルムはすべてISO25に設定されます。

使用フィルム感度のDX導入感度

DX導入感度（ISO）	25	50	100	200	400	800	1600	3200
使用フィルム感度(ISO)	25 32 40	50 64 80	100 125 160	200 250 320	400 500 640	800 1000 1250	1600 2000 2500	3200 ー ー

パトローネ(フィルムの容器)をカチッと音がするまで押して入れ、フィルムが平らに出るようにします。

フィルムを少し引き出し、先端をカメラ内部の先端マーク(◣▮)に合わせて、裏ぶたを閉じます。

＊フィルムのパーフォレーション(送り穴)とスプロケット(送り歯車)のかみ合わせを確認してください。

パワースイッチを押すと、フィルムは１枚目の撮影位置まで自動的に送られます。

＊ISO25のフィルム使用の場合は、シャッターボタンを押してください。

フィルムが送られていないときは

フィルムカウンターが0のまま点滅します。入れ直してください。

撮影準備

3
カメラは正しく構えましょう

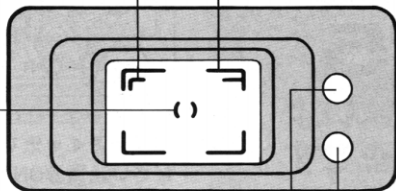
両手でしっかり持ってカメラぶれを防ぎましょう。カメラ背部を頬に当て、両ヒジを軽く締めると安定します。ヒジを開くとカメラぶれしやすくなります。

＊指の腹でシャッターボタンを静かに押してください。

タテ位置のフラッシュ撮影では、フラッシュが上になるように構えてください。フラッシュを下にして発光すると、写真が不自然になります。

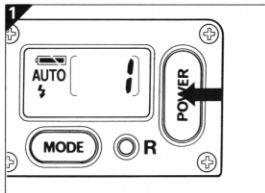
＊指や毛髪、ストラップなどが、レンズやオートフォーカス窓、測光窓、フラッシュをじゃましないように気をつけましょう。

撮影準備

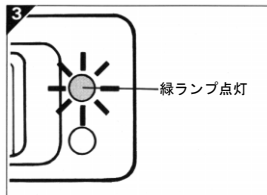
4
ファインダーと表示ランプ

基本撮影

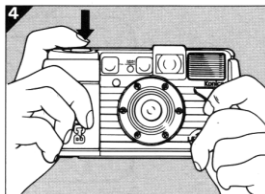
5
いよいよ撮影です
ϟAUTO

すべての撮影に共通する基本的な撮影の手順です。

＊重要な写真（業務用および結婚式や旅行など）の撮影の前に必ず試し撮りや無料診断をして、カメラが正常に機能するか事前に確認してから使用してください。

パワースイッチを押してください。電源ONとなり、ϟAUTO、1（フィルムカウンター）が点灯します。

＊電源OFF時には電池マークだけが点灯しています。
＊防塵ガラスおよびオートフォーカス窓の汚れにご注意ください。
もし汚したらきれいに拭きとってください。

ピントを合わせたい被写体にオートフォーカスフレームを合わせます。

シャッターボタンを半押しすると緑ランプが点灯し、自動的にピントが合います。

* 緑ランプが点滅したときは、被写体が近すぎてピントが合わない警告で、シャッターがロックされます。
* 緑ランプと同時にセルフタイマーランプが点灯するので、写される人にも撮影のタイミングがわかります。

シャッターボタンをさらに深く静かに押し込み、シャッターをきってください。

日中撮影の距離

現場監督28WB ECO	0.5m ～ ∞
現場監督35WB ECO	0.8m ～ ∞

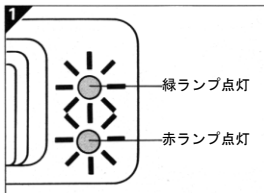
*撮影距離が 1m 以内のときは近距離撮影となります。

* 撮影が終わるとフィルムが１コマ自動的に送られ、フィルムカウンターの数字が1つ進みます。
* 続けて撮影しないときは、パワースイッチを押して電源OFFにしてください。
* 電源ONのまま放置しても、約10分後には自動的に電源OFFとなります。

基本撮影

6
自動フラッシュ撮影

暗いときフラッシュが自動的に発光します。

＊フラッシュは発光すると高温になります。このため汚れていたり、手袋などが触れたままフラッシュ撮影をすると、フラッシュが変質や変色をします。撮影の際にはフラッシュの汚れを清掃し、手袋などが触れないようにしてください。

シャッターボタンを半押しして、緑ランプと共に赤ランプが点灯したら、フラッシュが自動発光します。

シャッターボタンをいっぱいに押してフラッシュ撮影してください。

＊フラッシュ撮影後、赤ランプが数秒間点灯した後消えますが、この間は充電中ですから、シャッターはきれません。

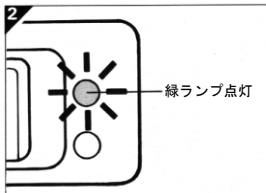
フラッシュ撮影の距離
（ネガカラーフィルム使用の場合）

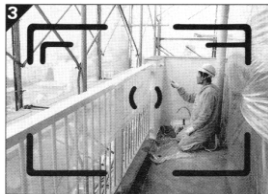
機種	感度	距離
現場監督28WB ECO	ISO 100	0.5m〜5.0m
	ISO 400	0.5m〜10.0m
現場監督35WB ECO	ISO 100	0.8m〜5.0m
	ISO 400	0.8m〜10.0m

基本撮影

7
フォーカスロック撮影

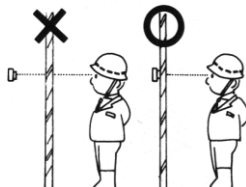
ピントを合わせたい被写体が画面中央にないとき、フォーカスロック撮影をしてください。

ピントを合わせたい被写体にオートフォーカスフレームを合わせます。

シャッターボタンを半押しすると、緑ランプが点灯してピント位置が固定されます。

＊緑ランプと同時にセルフタイマーランプが点灯します。
＊半押しした指をシャッターボタンから離すと、フォーカスロックは解除され、やり直しができます。
＊フォーカスロックと同時に自動露出も固定されます。

シャッターボタンを半押しのまま希望の構図に決め直し、シャッターボタンをいっぱいに押して撮影します。

＊構図を決め画すときに、撮影距離が変わらないようにご注意ください。距離が変わったときはやり直してください。

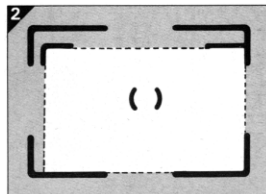
オートフォーカスが正しく働きにくい被写体

①光沢のあるもの
②光を反射しにくい黒いもの
③小さいもの、細いもの
④発光体
これらは測距しにくいので、同じ明るさで等距離の測距しやすいものに向けてフォーカスロックをしてから撮影してください。

＊ガラス越しの撮影は、オートフォーカスが働かない場合がありますから、同じ距離のものに向けてフォーカスロックしてください。
また、ガラスに密着させても正しい測距ができます。

基本撮影

8
近距離撮影

近接した被写体が画面中央からはずれるときは、フォーカスロック撮影をしてください。

被写体に近づいてオートフォーカスフレームに入れてください。

ファインダーの近距離補正マーク内で構図を決め、シャッターをきります。

＊近距離補正マークは、1m以内の撮影時にお使いください。

シャッターボタン半押しで緑ランプが点滅したときは…

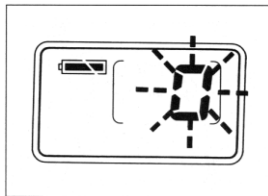
至近距離より被写体に近すぎてピントが合わない警告で、シャッターがロックされます。半押しした指をいったん離し、少し離れて押し直してください。

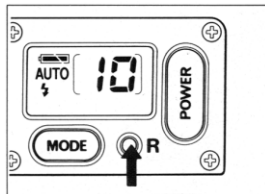
近距離撮影の至近距離

機種	至近距離
現場監督 28WB ECO	0.5m～
現場監督 35WB ECO	0.8m～

基本撮影

9
フィルムの取り出し方

フィルムの規定枚数より多く撮影した場合、最終画面が重なることがあります。写し終わったフィルムは、お早目にカメラ店に持参し「コニカカラー百年プリント」とご指定ください。

フィルムが最後になると自動的に巻き戻され、巻き戻し完了で停止します。フィルムカウンターの0の点滅を確認した上で裏ぶたを開けてフィルムを取り出してください。

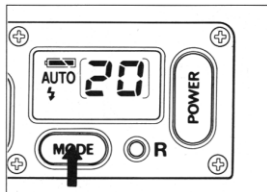
* フィルムカウンターは、巻き戻しに連動して逆算します。
* 裏ぶたを開けるとフィルムカウンターの0が一瞬点灯し、電源OFFになります。

途中巻き戻しの方法

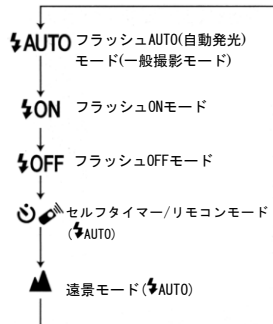
途中巻き戻し(R)スイッチをストラップ調整具の突起部で押すと、撮影途中のフィルム巻き戻しができます。

* 巻き戻し後の手順は、自動巻き戻しの場合と同じです。

応用撮影

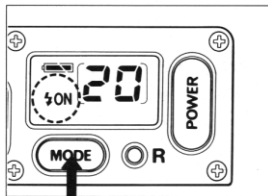
10 モードスイッチの切り替え

被写体に応じて最適な撮影方法を選択できます。

モードスイッチを押す毎に、撮影表示パネル上に各撮影モードが、順次表示され循環します。

* 通常は⚡AUTOになっています。
* 一度設定したモード(セルフタイマー以外)は固定され、そのまま撮影が続けられます。撮影が終わったら一般撮影モードに戻しておきましょう。また、電源をOFFにするとモードは解除され、再度電源をONにすると一般撮影モードに戻ります。

* セルフタイマーモードを選択するとリモコン撮影も可能となります。
* セルフタイマー撮影では、撮影毎にモードは解除され、一般撮影モードに自動復帰します。

応用撮影

11 日中フラッシュ撮影 ϟON

（フラッシュONモード）フラッシュが常時発光するモードです。逆光や室内窓際の被写体を明るくきれいに写します。

モードスイッチを押して、撮影表示パネルにϟONを出します。

フラッシュ撮影

被写体に向けてシャッターをきれば、明るいところでもフラッシュが発光します。

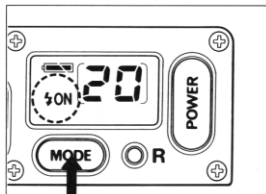
＊シャッターボタン半押しで、緑ランプと同時に赤ランプが点灯します。

フラッシュなし

応用撮影

12

スローシャッターシンクロ ϟON

（フラッシュONモード）夕方や夜間の撮影で、スローシャッターによるフラッシュ撮影が行われ、バックも被写体も共に明るく写せます。

モードスイッチを押して、撮影表示パネルにϟONを出します。

＊カメラぶれをしやすいので、三脚をご使用ください。

スローシャッターシンクロ

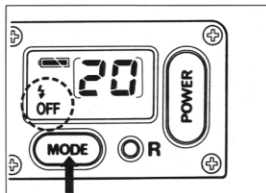
暗い場所で被写体に向けてシャッターをきれば、1/15秒までのスローシャッターによるフラッシュ撮影ができます。

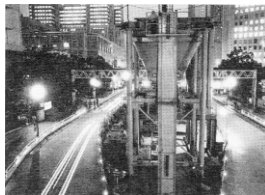
ϟAUTOのフラッシュ撮影

応用撮影

13

フラッシュなしの撮影 ϟOFF

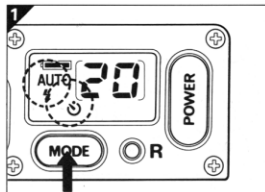
フラッシュが発光しないモードです。フラッシュ撮影が禁止されている美術館や都会の夜景撮影などにご利用ください。

モードスイッチを押して、撮影表示パネルにϟOFFを出します。
被写体に向けてシャッターをきれば、1/4秒までフラッシュなしの自動露出撮影ができます。

＊シャッターボタン半押しで、赤ランプが点滅したときは、カメラぶれの警告です。三脚をご使用ください。

暗くて自動露出が働かないときは、最長2秒の超スローシャッターに切替わります。(2秒バルブ)

＊このときはシャッターボタン半押しで、赤ランプがゆっくり点滅します。
＊2秒バルブは、2秒以内であれば、シャッターボタンを押している間、シャッターが開いたままになります。カメラぶれ防止のため三脚をご使用ください。

応用撮影

14 セルフタイマー撮影

人手を借りずに、撮影者自身が作業をしている状況を撮影できます。

モードスイッチを押して、撮影表示パネルに を出します。

* セルフタイマーモードにセットすると、⚡AUTO(フラッシュ自動発光)になります。
* 三脚をご使用ください。
* フォーカスロックもできます。
* このモード選択時にリモコン撮影の選択も可能となります。

被写体に向けてシャッターボタンを押すとセルフタイマーがスタートし、約10秒後にシャッターがきれます。

* 7秒点灯後、3秒点滅します。
* カメラの前から操作すると正しいピントが得られません。
* 撮影終了で一般撮影モードに戻ります。続けてセルフ撮影する場合はセットし直してください。
* パワースイッチを押すと作動中のセルフタイマーをキャンセルできます。

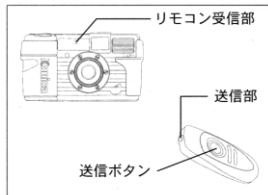
応用撮影

15

リモコン撮影

カメラから離れて撮影することがていただきます。

＊受信可能距離は、約5m以内(正面)です。

＊同梱のリモコンは防水・防塵構造になっております。

セルフタイマーモードを選択すると、リモコン撮影が可能となります。
リモコンの送信部をカメラの受信部に向けて、送信ボタンを押すとセルフタイマーランプが3秒間点滅した後シャッターがきれます。

＊三脚をご使用ください。

＊電源OFFの状態では受信されません。

＊このモードのフラッシュは、自動発光となります。

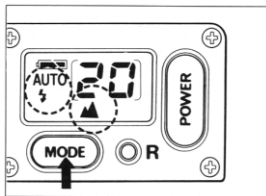
＊リモコン受信部に太陽や蛍光灯などの光が強く当たっているとき、或いはインバーター式蛍光灯が近くにあるときはリモコン撮影できないことがあります。そのようなときは、セルフタイマー撮影するかカメラを移動させてください。

＊リモコンには電池が入っています。撮影できなくなったら、当社サービスステーションで電池交換をしてください。(有償)

⚠ 警告

爆発して大けがの危険があります。
リモコンを火の中に入れたり、分解、加熱しないでください。

応用撮影
16
遠景撮影

ピントが遠景に固定されるモードです。日中の遠景撮影、特に窓ガラス越しの遠景撮影に有効です。

モードスイッチを押して、撮影表示パネルに▲を出します。

＊遠景モードにセットすると、
　AUTO(フラッシュ自動発光)になります。
＊夜景や日没前後の夕景など、暗いときの遠景撮影では、フラッシュなしの撮影をしてください。

ガラス越しの風景を遠景撮影

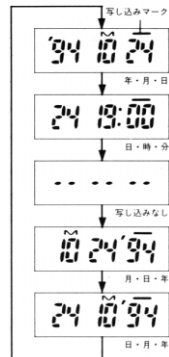
一般撮影

オートデート

（オートデート付のみ）

2019年12月31日までの日付・時刻を記憶し、画面に写し込むことができます。

表示モードの切替え

表示切替えスイッチを押し年月日、日時分、写し込みなしを選びます。

写し込みの位置が明るい場合、白い場合は、デート文字がはっきり出ないことがありますからご注意ください。

日付・時刻の修正

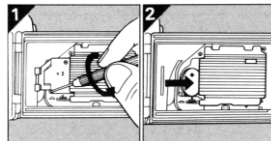
1)表示切替えスイッチを押して年月日(時刻の修正は日時分)を表示します。
2)選択スイッチを押して、修正する日付(時分)を点滅させます。
3)セットスイッチを押して、点滅している日付(時分)を修正します。
*2)3)の操作を繰り返して、日付(時分)を修正してください。

4)修正が全て終わったら再度選択スイッチを押してください。数字の点滅が点灯となり、一の写し込みマークが現れて写し込み可能な状態になります。
＊分を修正した後に選択スイッチを押すと、:が点滅しますので、もう一度選択スイッチを押してください。:の点滅が点灯となり、写し込み可能な状態になります。
＊秒まで合わせる場合は、:の点滅時に時報のゼロ秒時に合わせてセットスイッチを押してから更に選択スイッチを押してください。

オートデート用電池の交換

オートデート用電池として、リチウム電池(CR2025:3V)を使用しています。およその交換時期は一般的な撮影では約4年ですが、撮影枚数が多い場合は電池寿命は短くなります。プリントの写し込み文字が見えにくくなったら新しい電池と交換してください。

＊電池交換後は、日付・時刻を修正してください。

電池交換の方法

⚠ 警告 ・爆発して大けがの危険があります。電池を火の中に入れたり、ショート、分解、加熱をしないでください。
・誤って飲み込むと死亡の危険があります。電池は幼児の手の届かない所に保管してください。

現場監督28WB　ECOのおもな仕様

＊下記性能については当社試験条件によります。
＊製品の仕様、外観については予告なく変更することがあります。

項目	仕様
形　　式	レンズシャッター式ＡＦ全自動35mmカメラ
画面サイズ	24×36mm
レンズ	コニカレンズ、28mm F3.5(5群 5枚構成) レンズ前面に防塵ガラス
パワースイッチ	電源ONでオートローディング・シャッターロック解除・液晶点灯・約10分後自動的に電源OFF、電源残量マーク表示、電源OFFでシャッターロック・電池マーク以外の液晶消灯・セルフタイマーキャンセル
シャッター	プログラム電子シャッター、電磁レリーズ、1/4秒～1/280秒　2秒バルブ付
焦点調節	赤外線ノンスキャンアクティブ式自動焦点、撮影範囲・0.5m～∞、0.5m以内の近距離ロック、フォーカスロック、遠景撮影可能
露出調節	CdS受光素子使用のプログラム自動露出調節 中央重点測光
露出連動範囲	ISO 100・EV5.5～EV16.5
フィルム感度	自動設定(ISO 25～ISO 3200、1 EVステップ)
ファインダー	アルバダ式ブライトフレームファインダー、オートフォーカスフレーム、近距離補正マーク、ファインダー脇に緑ランプ(AE･AF ロック時点灯、近距離ロック時点滅)、赤ランプ(フラッシュ発光時・未充電時点灯、低輝度警告時点滅)
フラッシュ	手ぶれ限界の低輝度時に自動発光するフラッシュマチック機構、連動範囲・ISO 100・0.5m～5.0m、発光間隔・約4秒
モード切替え	フラッシュ自動発光、フラッシュON、フラッシュOFF、セルフタイマー/リモコン撮影、遠景撮影の各モードを循環、液晶パネルに表示
セルフタイマー	電子式、作動時間約10秒、セルフタイマーランプが約7秒間点灯した後約3秒間点滅、途中解除可能
リモコン	赤外光利用の専用防水リモコンシステム、送信ボタンで始動、受信可能距離約5m(正面)、電池CR2025(3V)1個、電池寿命約10,000回
フィルム給送	電動式、パワースイッチでスタートするオートローディング、自動巻き上げ、フィルム終了でオートリターン、巻き戻し後自動停止、途中巻き戻し可能
フィルムカウンター	順算式、液晶パネルに表示
オートデート (デート付のみ)	液晶表示式デジタルウオッチ内蔵、2019年までの年月日、日時分、写し込みなし、月日年、日月年を表示、秒単位まで修正可能
電池寿命	50%フラッシュ発光のとき約55本（24EX）
電　源	リチウム電池(2CR5:6V)1コ、オートデート用としてリチウム電池(CR2025:3V)1コ
防　水	種類・JIS保護等級7(防浸形)、意味・定められた条件で水中に没しても内部に水が入らないもの、試験・水面下1mで30分間水中に放置
大きさ	デートなし145×80.5×56mmデート付145×80.5×59mm
質量（重さ）	デートなし350ｇ、デート付355ｇ（電池別）

現場監督35WB　ECOのおもな仕様

＊下記性能については当社試験条件によります。
＊製品の仕様､外観については予告なく変更することがあります。

項目	仕様
形　　式	レンズシャッター式ＡＦ全自動35mmカメラ
画面サイズ	24×36mm
レ　ン　ズ	コニカレンズ、35mm F3.5(3群 3枚構成) レンズ前面に防塵ガラス
パワースイッチ	電源ONでオートローディング・シャッターロック解除・液晶点灯・約10分後自動的に電源OFF、電源残量マーク表示、電源OFFでシャッターロック・電池マーク以外の液晶消灯・セルフタイマーキャンセル
シャッター	プログラム電子シャッター、電磁レリーズ、1/4秒〜1/280秒　2秒バルブ付
焦点調節	赤外線ノンスキャンアクティブ式自動焦点、撮影範囲・0.8m〜∞、0.8m以内の近距離ロック、フォーカスロック、遠景撮影可能
露出調節	CdS受光素子使用のプログラム自動露出調節 中央重点測光
露出連動範囲	ISO 100・EV5.5〜EV16.5
フィルム感度	自動設定(ISO 25〜ISO 3200、1 EVステップ)
ファインダー	アルバダ式ブライトフレームファインダー、オートフォーカスフレーム、近距離補正マーク、ファインダー脇に緑ランプ(AE･AF ロック時点灯、近距離ロック時点滅)、赤ランプ(フラッシュ発光時・未充電時点灯、低輝度警告時点滅)
フラッシュ	手ぶれ限界の低輝度時に自動発光するフラッシュマチック機構、連動範囲・ISO 100・0.8m〜5.0m、発光間隔・約4秒
モード切替え	フラッシュ自動発光、フラッシュON、フラッシュOFF、セルフタイマー/リモコン撮影、遠景撮影の各モードを循環、液晶パネルに表示
セルフタイマー	電子式、作動時間約10秒、セルフタイマーランプが約7秒間点灯した後約3秒間点滅、途中解除可能
リモコン	赤外光利用の専用防水リモコンシステム、送信ボタンで始動、受信可能距離約5m(正面)、電池CR2025(3V)1個、電池寿命約10,000回
フィルム給送	電動式、パワースイッチでスタートするオートローディング、自動巻き上げ、フィルム終了でオートリターン、巻き戻し後自動停止、途中巻き戻し可能
フィルムカウンター	順算式、液晶パネルに表示
オートデート (デート付のみ)	液晶表示式デジタルウオッチ内蔵、2019年までの年月日、日時分、写し込みなし、月日年、日月年を表示、秒単位まで修正可能
電池寿命	50%フラッシュ発光のとき約55本（24EX）
電　　源	リチウム電池(2CR5:6V)1コ、オートデート用としてリチウム電池(CR2025:3V)1コ
防　　水	種類・JIS保護等級7(防浸形)、意味・定められた条件で水中に没しても内部に水が入らないもの、試験・水面下1mで30分間水中に放置
大 き さ	デートなし145×80.5×56mmデート付145×80.5×59mm
質量（重さ）	デートなし345ｇ、デート付350ｇ(電池別)